

令和 7 年度 第 1 回 志摩市社会教育委員会議 議事要旨

日時：令和 7 年 6 月 30 日(月) 午前 11 時 00 分～午後 0 時 15 分

場所：志摩市役所 6 階 602・603 会議室

開会に先立ち、事務局より、出席委員が 8 名中 7 名であったため、志摩市社会教育委員会に関する条例第 6 条第 2 項の規定により本会議が成立したことを報告。

1. 教育長あいさつ

- ・ 令和 6 年度の取組みを総括するにあたり、忌憚のないご意見を賜りたい。今年度の取組みを、来年度へとつなげるものとするため、ぜひそれぞれの立場から活発な議論をお願いする。
- ・ 今年度は 11 月 9 日に、第 44 回全国豊かな海づくり大会を予定している。本大会は全国規模の大きな催しであり、天皇皇后両陛下のご臨席が恒例となっている。つきましては、市を挙げてこの大会に取り組む所存であり、皆様には引き続きご理解とご協力をお願い申し上げます。

2. 委嘱状交付・自己紹介

- ・ 委嘱状を交付し、各委員および事務局職員が自己紹介を行った。

3. 志摩市社会教育委員会委員長・副委員長選出(第 57 回東海北陸社会教育研究大会(三重大会)実行委員会委員選出を含む)

- ・ 志摩市社会教育委員会運営規則により、委員長および副委員長を互選により決定した。

委員長：西根 隆 委員

副委員長：厚見 和人 委員

- ・ 第 57 回東海北陸社会教育研究大会(三重大会)実行委員会委員を選出した。

実行委員：山本 寿絵 委員

4. 議題

(1) 令和 6 年度社会教育関係事業(実績)について

事務局各担当より説明。

(質疑応答・意見)

- 委員：志摩市青少年補導センターにおける補導実績について、その内訳と対策をどのようにしているか。

事務局：街頭補導では、自転車のヘルメット着用と二人乗り、また、コンビニエンスストアに夜間たむろしている子どもたちへの注意が 3 件。合同

補導では、祭りの喫煙ブースにたむろしていた 20 歳未満と思われる若者たちへの注意が 1 件。国や県を通じて通知される「青少年被害・非行防止活動夏季強調月間」にあわせて補導員に街頭補導の実施を依頼するほか、地域の祭りなど、計画をもって巡回を実施していく。

- 委員：市指定文化財保護補助金に関して、鵜方獅子舞が中止とあるが、これはどういうことか。

事務局：後継者不足や指導者の負担もあり、今年度も中止と報告いただいている。また、渡鹿野天王祭も人手不足により中止と聞いている。

- 委員：市内に市民が利用できるプールが 3 つしかなく、阿児町や大王町の方々の行き先についてどのようにお考えか。

事務局：阿児町内や大王町内に施設はないが、サンライフあごのプール閉館後、市内各 B&G 海洋センターを利用していると聞いている。小学生については、一定の時期に鵜方小学校と東海小学校のプールを利用できるようにしている。一般の方は利用できない。

- 委員：神明小学校児童は鵜方小学校のプールを使えるのか。

事務局：夏休み中の一定の期間利用できる。

- 委員：的矢小学校のプールはもう使用していないか。

事務局：施設自体が防災倉庫となっている。

- 委員：美し国三重市町対抗駅伝委託料について、当初予算と実績額が大きく異なるのはなぜか。

事務局：当初令和 5 年度を基準に予算計上を行ったが、ユニフォームを新調することとなり、予算増額をして対応した。駅伝は 10 区間あり、各区間 2 名ずつ選出がいて、全体で選手は 20 名の登録がある。その他監督とコーチの分と予備も含めて、1 着あたり 1 万 5 千円程度を 30 着購入している。また、ウインドブレーカーも上下セットで 3 万 1 千 9 百円を 22 着購入している。

- 委員：志摩市全体で学校再編が進み、子どもたちの人数も少なくなり、スポーツ少年団のチーム統合や活動場所の移動がある。将来的に団体競技は、市内で集まらないとできなくなってしまうため、考えていかなければならない時代に入っているのではないかと感じる。教員の働き方改革のことや、志摩市では令和 8 年度に向けて土日の部活動の地域移行を進めていると聞いている。特に団体競技が難しくなっているが、無くすよりは続けていってもらいたいと志摩市スポーツ協会の会議でも毎回話題となり、生徒の移動手段や指導者の確保の面で課題はあるが、市の方向性について案を考えておいてもらいたいと思う。

事務局：スポーツ少年団の団体の方で合併するなど工夫していると聞いている。部活動の地域移行についても来年度に向けて進めているため、ご意見をいただきながら子どもたちのために検討して進めて参りたい。スポー

ツの機会は確保していける見通しもあるが、移動手段の面では困難な状況となっている。市のコミュニティバスを運行している自治体の例も聞くが、志摩市では運行していないこと、経路についても厳しい状況。各家庭での送迎が現実的となってきた。

- 委員：保護者が土日に仕事である家庭もある。家庭で送迎ができない生徒はスポーツを選べないことになってしまうので、移動手段のことは考慮してほしい。公平性の問題をどう担保するか。

事務局：よく理解できる。引き続き一緒に考えさせていただく。

- 委員：大王町でも子どもの人数が少なくなってきたおり、抜本的にとってもどうすればよいか。スポーツを一つにまとめるにしても、また、文化の方でもまとめるにしても、言葉では「地域」や「全体」とは言うが、個々にやってみると話し合いになったりして、何とかしないといけない時代に入っていて、何とかしないといけないと思っているが、解決策が見えず、非常に難しいと感じている。
- 委員：磯部町でも子どもの人数が少なくなっている。他の学校でも同様であると思うが、少子化による新たな課題が出てくるのではないかなと思う。
- 委員：ボランティアの担い手がとても少ないと感じている。母親は、家庭内での負担も増え、子育てで余裕がなくなっている様子である。昔はもう少し気持ちにも余裕があったように思うが、最近は共働きの家庭などで負担が増え、余裕が少なくなってきたことで担い手不足につながっていると思う。
- 委員：学校もご指摘の問題に直面しており、解決策がなかなか難しい。また、熱中症対策により何をするにも活動制限がある中で、報告いただいた様々な事業が実施されていることに感謝申し上げる。学校長の立場で地域を回っていると、地域の方々から子どもたちをものすごく大事にしてくれる言葉をかけてくれたり、大事にしてくれていることを感じるので、地域の方々の体制や気持ちをつなげられるよう、ここだけは失いたくないと思っている。

(2) 報告事項

- ・ 三重県社会教育委員連絡協議会表彰について

令和7年6月13日に開催された三重県社会教育委員連絡協議会において、志摩市から推薦した谷水康子委員が表彰を受けたことを報告した。また、来年度以降も1名ないし2名の委員を推薦していくことを説明した。

(質疑応答)

- 委員：辞退も可能か。
事務局：可能である。

- ・ 令和 7 年度第 56 回東海北陸社会教育研究大会 岐阜大会について

令和 7 年 10 月 3 日に岐阜県瑞穂市にある瑞穂市総合センターを会場に、「令和 7 年度第 56 回東海北陸社会教育研究大会岐阜大会」が開催される予定であり、元志摩市社会教育委員の田畑珠美様が三重県の被表彰候補者に選ばれ、三重県から大会実行委員会へ推薦書が提出されたことを報告した。また、「令和 8 年度第 57 回東海北陸社会教育研究大会(三重大会)」の実行委員会委員として選出された山本寿絵委員には、視察用に参加費予算を措置することを説明した。なお、その他の委員の参加は任意で自己負担となるが、事務局が大会当日早朝から会場へ向かうため、乗り合いでの移動が可能であり、参加する委員の方には、大会当日の委員報酬と志摩市役所までの費用弁償を支給する旨説明した。

(質疑応答)

特になし

- ・ 新成人(18 歳)へのメッセージについて

令和 6 年度から取り組みを始め、今年度も令和 7 年 4 月 1 日に志摩市ホームページに、今年度で 18 歳を迎える新成人を対象に市長メッセージを掲載したことを報告した。「二十歳の集い」への意識向上と、できる限り多くの方にメッセージを届けたく、今年度も同様に市内高等学校を訪問し、1 学期中に 3 年生を対象に紙媒体でのメッセージ配布を行う予定を説明した。

(質疑応答)

特になし

5. 事務連絡

(事務局より)

- ・ 社会教育委員対象の各研修会を案内した。
「令和 7 年度社会教育主事等社会教育行政職員のための基礎研修会」
「令和 7 年度社会教育関係者ネットワーク実践研究交流会」
「令和 7 年度地域学校協働活動推進のためのコーディネーター養成講座」
- ・ 令和 8 年度当初予算に向けて社会教育関係事業への意見や協力を依頼した。
- ・ 次期再任の意向確認を行うことについて説明した。

(委員より)

特になし

○傍聴者なし